

二人の転生者は異世界
で何を見てどう思うの
か？

切嗣士郎

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

これは、二人の転生者が頑張って原作をハッピーエンドに使用と奮闘する物語。▼一人の転生者は五輪家の戦略級魔法師こと、五輪藩に憑依転生してしまったり。▼もう一方の転生者は六塚家の当主こと六塚温子の弟として転生してしまう。▼そして、二人の転生者が再び出会う時、運命の歯車は動き出す。

「貴方が正義と言うのなら私は悪の道突き進みましょう」

「何もわかってないくせに、こいつの夢を笑ってんじやねえよ!!」

【注意】 この作品の五輪藩は原作より9歳若く、達也達と同一年の設定です。

目次

プロローグ：二人の転生者 | 1

プロローグ：二人の転生者

真つ白な空間に一組の男女が立っていた。

すると

「此処は一体何処でしょうか？」

と黒髪のショートカットの女性が言う。と首に青いボトルのペンダントをした青年は

「さあ？でも、現世ではなさそうだね。」

と言う。とショートカットの女性は平然と

「なら、此処は天国ですか？それとも、地獄ですか？」

と言う。と首を傾げると青年が後ろを振り返り

「此処は何処ですか？僕達の話を盗み聞きしている。人ではない誰かさん！」

と指を差すと誰もいなかった場所にノイズが走ると同時に一人のピンクのロングヘ

アの女性が現れる

「流石、切嗣マイトさん。人類の奇跡と呼ばれていただけはありますね。」

と言って拍手するとショートカット女性が

「貴女は私の敵？それとも味方？どっちでしょう？答え次第では殺さなければイケナ

イから」

と言つて一本の長刀を構えるとロングヘアの女性は

「凄いですね。これ程の殺気は久しぶりです!!」

と笑顔で言うといきなり「ですが」と呟くと

「貴女では私を殺せませんよ？新崎玲奈さん」

と言つて真剣な顔付きで言うと言奈と呼ばれる女性は

「そうですね。私では貴女を殺すことは出来なそう」

長刀を腰に仕舞うとマイトと呼ばれた青年は

「それで、俺達は何で呼ばれたんだ？神様？」

と発言すると神様と呼ばれた女性は

「何故、私が神様だと思つたのですか？マイトさん」

とマイトと呼ばれる青年の方向に向くと

「まあ、理由としては三つだ。一つ目は貴女が俺達の名前を知っていた事。二つ目はそ

この女性の殺気を浴びても普通に話せていた事。そして、三つ目は最後の貴女が発した言葉から人間以外の感じがしたからだよ？」

と言い出すので神様と呼ばれた女性は

「正解です。私は貴方達の世界を管理している、神様です。名は天照大御神です。」

と言うとマイトと呼ばれていた青年は

「日本神話の大物が登場とはな!？」

と驚愕していると玲奈と呼ばれる女性は

「それで、天照様が何の用でしょう」

と首を傾げながら言うのと天照は

「貴方達をとある世界に転生させます」

と発言するとマイトと呼ばれる青年と玲奈と呼ばれる女性は同時に

「分か(った)(りました)」

と眩くので天照は

「転生特典は何にしますか?ちなみに二つまでです。」

と聞くとマイトと呼ばれる青年は

「二つ目は仮面ライダーゼロワンのベルトと変身アイテムにこれから出てくる武器や強化系アイテム。そして、二つ目はFate／キャラの全宝具と武器を使える様にしてくれ」

と言うと天照は

「分かりました。」

と言うと玲奈と呼ばれる女性は

「なら、私は一つ目はデート・ア・ライブに出てくる全天使。そして、二つ目はとある魔術の禁書目録に出てくるアクセラレーターの能力でお願いします。」

と言うと天照は

「分かりました。それでは、転生させますよ」

と言うと二人の真っ下に魔法陣が現れると二人はこの部屋消えると天照は

「どうかあの二人に祝福がありますように」

と呟いてその場から消え去って行く。